

■ぬまづ近代史点描77 原の戦争記念碑

■28年度新収資料の紹介

■28年度当館収蔵資料の使用

二〇一七年四月

通巻
129号

沼津市明治史料館通信



絵葉書「沼津音頭・沼津の茶摘」

(当館所蔵)

「沼津音頭」は、北原白秋作詞、町田嘉章作曲、花柳徳太郎振付で昭和3年(1928)11月22日にお披露目された。当初、若山牧水が作歌する予定であったが、同年9月に急逝してしまったため、牧水とは早稲田で同級で、昭和2年に狐ヶ崎遊園地の宣伝歌として「ちゃっきり節」を制作していた白秋が後を継ぐ形で制作した。

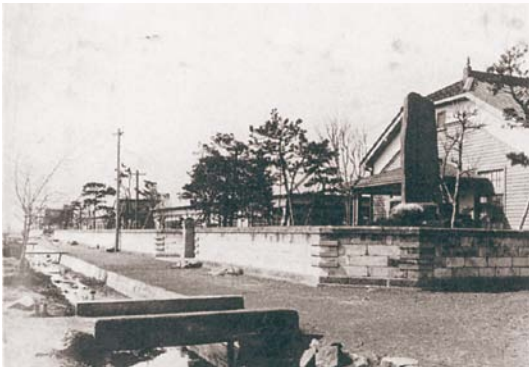
ぬまづ近代史点描 77 原の戦争記念碑

忠魂碑

浅間神社境内に建つ。昭和五年（一九三〇）一月、御大典記念で、帝国在郷軍人会原町分会の発起で、当時原駅前にあった原尋常高等小学校に建立された。揮毫は陸軍大将一戸兵衛。碑裏面に西南戦役三名、日清戦役一名、日露戦争七名、日独戦役一名、大正一〇年飛行殉職一名、合計一三名の戦病死者の階級と氏名が刻される。また、建碑に関わった、顧問の原町長渡辺欣一、庄司良朗ら四〇名の氏名も刻される。石工は登仲誠之助。昭和一〇年の学校移転の際に移設され、終戦後、GHQの指令により倒されたままになっていたところを、昭和四九年一月、現在地に副碑とともに再建された。副碑は旧原町有志一同によって建てられ、忠魂碑再建由緒と



忠魂碑と副碑
(浅間神社)



原小学校の忠魂碑
〔『原 創立百周年記念誌』より〕
現校地南東角のあたり



忠霊塔
(大通禅寺)



護国塔
(伊勢神明宮)

「日華事変殉国勇士」として大塚六名、東町三名、西町六名、六軒町八名、新田四名、一本松七名、桃里二名、植田一名、計三七名と、「太平洋戦争殉国勇士」として大塚四六名、東町二九名、西町四五名、六軒町三八名、新田一六名、一本松二五名、桃里二〇名、植田五名、計二二四名と「大塚 学徒」として女生徒と思しき名がある。副碑の撰文と書は庄司正彦、石工は戸仲虎男。

忠霊塔

一本松の大通禅寺に建つ。昭和二八年（一九五三）九月、一本松、桃里、植田の三区で建立した。揮毫は龍沢寺玄峰。碑裏面に西南戦役四名、日露戦役四名、支那事変九名、大東亜戦役五名、準戦死者八名、殉難者二名、計八一名の

氏名が刻される。松蔭宗鶴謹誌。石工は長橋金太郎。台座の裏側に顧問高田孝雄ら一六名の氏名が刻された石板がある。碑前面にある花立一对は三区の婦人会一同が、手水鉢は建設委員一同が建碑時に建立したものの。

護国塔

三本松の伊勢神明宮境内に建つ。昭和二七年（一九五二）八月、三本松区で建立。揮毫は龍沢寺玄峰。碑裏面に大東亜戦病死者英霊一三名の階級、氏名、没年月日、没地、行年が刻されている。学徒海軍軍属として従軍し、沼津海軍工廠で昭和二〇年五月一二日に一七才で没した女子の名がある。石工は二代目片山嘉也。碑前にある手水鉢は、建碑の翌月に三壮クラブが寄贈したもの。花立一对は、昭和三六年七月に三本松区、遺族一同でそれぞれ寄贈したもの。

俱会一處

白隠さんのお寺として知られる松蔭寺の墓地の南端に建つ。昭和三四年（一九五九）三月、有志によって、旧原町の大塚新田、本田、東町、西町、六軒町、原新田から出た戦没者の慰霊のために建立された。「俱会一處」とは浄土教の往生の利益の一つで、阿弥陀仏の極楽浄土に往生したものは、浄土の仏・菩薩たちと一処で出会うことができる、という意味である。「慰霊の目的たるに止まらず、将来永遠に再び犠牲者の出ないことを祈念して平和の象徴を具備する。」と台座裏面に解説されている。慈容尊像は旧原町出身の彫塑家長沢幸夫が製作したもの。台座に各区ごとの戦没者の氏名が入っている。大塚新田一七名、大塚本田二二名、東町一区一九名、東町二区一八名、西町一区二七名、西町二区二四名、六軒町四三名、原新田二〇名、その他の地区二三名、合計二一二名。

なお、隣接した無縁墓を集めた所の中央部に「暁部隊戦没諸精霊菩提」の聖観音像、「殉国諸英霊 当境有縁無縁諸霊 原水爆物故者諸精霊」の五輪塔が建立されている。



俱会一處
(松蔭寺)

北朝鮮地域在住同胞殉難者 慰霊碑

松蔭寺境内に建つ。昭和五八年（一九八三）一月五日、社団法人北朝鮮地域同胞援護会が建立した。同会々長四元義隆は、明治四一年（一九〇八）鹿児島県生まれ。東京帝大法学部中退、昭和七年（一九三二）の血盟団事件に連座して投獄された。昭和一五年、恩赦で出獄後、近衛文麿、鈴木貫太郎のブレンとして活躍し、戦後も歴代総理、特に中曽根総理の指南役として知られる。平成一六年（二〇〇四）没。

四元は父の仕事の関係で青年時代を現在の北朝鮮の清津で過ごしたこともあって、終戦の後も北朝鮮に取り残された日本人の遺骨収集や、墓参りの実現を目指していた。（毎日新聞二〇〇四年八月一四日）血盟団事件の裁判で三島・龍沢寺の玄峰老師の特別弁護を受けた縁から、出獄後に玄峰老師に師事し、田中清玄と玄峰を引き合わせたりもした。また松蔭寺先代の中島玄奘とは同門で懇意にしていたことから、松蔭寺にこの碑が建立されたという。現在も八月一五日には慰霊祭が執り行われ、現住の宮本圓明は北朝鮮の地に渡っての読経を実現した。



(右) 暁部隊戦没諸精霊菩提
(左) 殉国諸英霊 当境有縁無縁諸霊
原水爆物故者諸精霊
(松蔭寺)



北朝鮮地域在住同胞
殉難者慰霊碑
(松蔭寺)

時まさに昭和二十年八月十五日、三年八ヶ月におよぶ、悪夢のような第二次大戦は終熄した。その直前の八月九日に、ソ連軍の不可侵条約の一方的破棄による侵攻が開始されるや、朝鮮半島の北方地域は一瞬にして地獄絵図の如き修羅場と化し、軍・官・民数十万の尊い犠牲者を出すにいたった。

更に、朝鮮半島の北緯三十八度線をもって南北遮断分割占領という事態により、北方地区は強制抑留を余儀なくされること一年数ヶ月、その間、疫病や栄養失調によって、極寒零下二十度の中で倒れたる犠牲者三万幾千柱が、その後、半世紀にならんとする今日もなお彼の地に眠りつづけている。

筆舌に尽し難い辛苦を嘗め幸運にも脱出引揚げをなし、今日の世界に冠たる経済大国に成長した日本の繁栄を享受している私達は、これら多くの方々の御霊が尊い礎となっていることに想いを馳せ、肉親同胞の遺骨の収集と墓参を目途として、二十数年間その実現に最大の努力を重ねてきた。

然るに、国際関係に阻まれて、未だその機会の到来せざることは、誠に遺憾の極みであり痛恨これに過ぎるものはない。

いま此処、白隠禪師住栖の地に碑を建立し、これら殉難の方々の慰霊と永代の冥福を祈ると共に、御霊を母国にお迎えする日の一日も早からんことを希い鎮魂の誠を捧げる次第である。

昭和五十八年十一月五日
社団法人北朝鮮地域同胞援護会 会長 四元義隆
北朝鮮地域在住同胞殉難者慰霊碑建立委員会 委員長 國行稔夫

(詠歌) 神去りしみたまもここに鎮りて
みくにのいしずえ石とおろかむ 義隆

平成28年度新収資料の紹介 昨年度、明治史料館に仲間入りした資料です。

寄贈	柳下 登 様 石井 勇二 様 青木 育子 様 原賀 角平 様 斎藤 健三 様 大川 継久 様 水野 義彦 様 千本緑町自治会 様 五十嵐敏文 様 土屋 洋子 様 藤城 城一 様 青木 靖雄 様	ヒポクラテス画像・梅竹家額など 入浴日記・愛鷹山論雑用割合帳・覚 絵はがき・昭和14年防空訓練写真 管打ち式銃 沼津海軍工廠工員養成所で使われた教科書 有栖川宮熾仁書掛軸 千人針・日の丸寄せ書きなど 可搬ポンプ 東西椎路村地先沼津勤番組割付図 江原素六書扁額「喜楽之心能養身……」 鈴木忠視撮影写真 古文書	鈴木忠視撮影写真（沼津城内）・沼津中学校『学友会誌』『皇太子行啓記念号』『沼津 中学写真帖』・地谷盈進『稿本長尾藩史譚』・沼津町全図附近地図（明治40年）・長 尾大学編『無我翁と雷公』・和田宜蔵詠歌短冊、「惟一」第10号・桃中軒の駅弁包装 紙・沼津町活動写真常設館関係資料・『静岡県知名人士肖像一覽』・「戸田村消防組規 約」・「津澤郡西浦村会議細則」・「茶業統計表（昭和2年度）」・「静岡県駿東郡沼津市 茶業組合規約」・「沼津毛織株式会社写真帖」・北原白秋「新作沼津民謡」・「沼津開 業五十週年記念」（写真帖）・沼津精華女学校「入学の葉・要覧」・「沼津市二於ケル 巡回洗濯婦紹介状況」・「自家用醤油の製造法」（昭和9年）・『沼津煙草販売所庁舎新 築落成記念』・「南進」第6巻第3号・沼津海軍共済病院外科「手術患者看護必携」・ 沼津兵器（工業）株式会社設立総会関係資料・積性勝著『子らをまわる 或る養護 学園の生活記録』『集団に育つ子ら』・中村義光自筆楽譜、国民学校芸能科音楽 音感 訓練系統案・第12回国民体育大会ガイドブック、ぬまづガイド・真山真一「沼津プ ルース」（レコード）
	購入	沼津兵学校関係 「私立麻布尋常中学校規則」・江原素六著『聖人伝』上・西周「昇級証」（独逸学協会 学校）・西周訳『癸卯氏著心理学』・西周校閲『小学道徳論』巻3、巻4・中根淑著 『おどけ草紙』初編・中根香学校閲『新釈奥の細路』・島田三郎・田口卯吉『革進』 6冊・田口卯吉書簡・松井惟利著『訓蒙単語通解』巻2・大森俊次編『新編算術初 歩』・荒川重平編『参考用諸表』・田辺朔郎著『袖珍公式工師必携 完』・袖珍公式工 師必携補遺篇』・深谷周三著『馬原病学』第1・2編・「静岡御役人附」 旧沼津藩関係 三浦徹『むかし物語』 その他沼津の歴史関係 小松浦吉（尚古軒）発行『洋算二一夭作』「大日本分県地名指図 静岡県之部」・	絵はがき 「沼津風景 狩野川口ノ富士」・「謹賀新年」（沼津市役所発行）・「長岡温泉名所 三津 海水浴場」・「駿河湾八景其三久連神嶋（晚嶽）」・「第一回全国都市計画協議大会記 念」・「牛臥山ヨリ沼津全市ノ遠望」・「沼津千本濱沖の富士」・「沼津近郊 浮島沼ノ 逆サ富士」・「沼津機関庫 模型投炭競争技芸授与式」・「戸田全景」・「東海道五十三次 之内（沼津）」・「沼津大火の惨状」大正二年三月三日 上本町方面・大手町附近（東 望）・狩野川対岸ヨリ見タル宮町魚町仲町方面焼跡・（沼津名所）上土町通り・「岳 南八景 沼津黄瀬川ノ富士」・「岳南八景 静岡ノ富士」・（沼津名勝）兵学校記念碑 （我国陸軍創始）・「中笠酒店沼津支店創立五十週年記念表はがき」

平成28年度当館収蔵資料の使用 明治史料館の資料がいろいろなところで活躍しました。

☆展示使用

4月	富士山かぐや姫ミュージアム 常設展示 『安政見聞録』（旧沼津藩士酒井家文書）・「地震之記」
4月～6月	富士山かぐや姫ミュージアム リニューアル記念展「富士のある風景」 水野忠友画「富士山」・ポール＝ジャクレー画「勇ましい漁師」
5月	吉野作造記念館 企画展「暮らしの向上を求めて」 「家庭購買組合出資券」（江原素六関係文書）
10月	沼津市立図書館 読書週間企画展「村岡花子と赤毛のアン ～子どものための翻訳の世界～」 『通俗伊蘇物語』・写真「渡部温」など5点
11月	沼津市歴史民俗資料館 松籟の宴2016白隠禅画展 「お婆粉引き歌」
1月	静岡県田子の浦港管理事務所 ふじのくに田子の浦みなと公園体験学習施設 常設展示 「地震之記」より13点
2月	沼津信用金庫本店 展示「地域防災」 パネル「小林村変地之図」など8点 酒々井町教育委員会 プリミエール酒々井（ホワイエ&ギャラリー） フォーラム「房総の牧を考える」 「愛鷹三枚絵図」（原資料愛鷹小学校所蔵）
2月～5月	東京都写真美術館 「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 総集編」 ガラス板写真「大築尚志」（大築尚志関係資料）

☆刊行物掲載

4月	洋泉社 樋口雄彦『幕田たちは明治維新をどう生きたのか』 写真「益田孝」（旧幕臣箕輪家資料）など5点
8月	船橋市飛ノ台史跡公園博物館『みゅーじあむ・船橋』第7号 錦絵「当世武勇伝 小室弥四郎」
9月	現代書館 樋口雄彦『シリーズ藩物語 沼津藩』 「沼津城絵図」など65点 吉川弘文館 奥田春樹『日本近代の歴史① 維新と開化』 写真「西周」
10月	清文堂出版『大坂西町奉行久須美祐明日記―天保改革期の大坂町奉行―』 「久須美祐明肖像」など11点 下田市教育委員会『下田市史 別編 幕末開港』 「沼津藩白浜村台場の武衛流による大砲図」（「渡辺森両先生より授砲術伝書」より）など6点 吞山研究会『三島の旦那衆が元気だった頃』 写真「石橋製糸工場全景」
11月	公益社団法人江原素六先生顕彰会『江原素六先生顕彰会会報』第24号 「江原素六七十八歳肖像画」（複製）（江原素六関係文書） ながいずみ観光交流協会 ながいずみクチコミガイド⑦ 「駿州愛鷹牧捕獲馬之図」（原資料個人蔵）
12月	鳥郷自治会『ふるさと鳥郷町史』 「香貫嶋郷原御林之内江越候者之屋敷改之帳」（下香貫森田家文書）など12点 沼津郷土史研究談話会（沼津史談会）『沼津ふるさと通信』第2号 写真「沼津セントラル劇場」など10点
1月	沼津朝日1月1日号 写真「市場町御成橋東側交差点」 学校法人東洋英和女学院史料室『東洋英和女学院資料集』第5号 写真「江原素六」（江原素六関係文書）
2月	天夢人 ハーパー・コリンズ・ジャパン社『週刊 ビジュアル江戸三百藩』73号 「沼津城絵図」・写真「城岡神社」など4点 沼津郷土史研究談話会（沼津史談会）『沼津史談』第68号 写真「幕府オランダ留学生」
3月	国立歴史民俗博物館『国立歴史民俗博物館研究報告』第203集 樋口雄彦「近世・近代移行期の治水行政と土木官僚―静岡藩水利路程掛とその周辺―」 「官途日録」（大川通久関係資料）など5点

☆テレビ等映像・その他

4月	NHK Eテレ「ふるカAFE系 ハルさんの休日」「ひねもすカAFE」編 写真「沼津駅前（明治末期）」など3点
8月	Fジテレビ「めざましテレビ」 絵はがき「沼津停車場全景」「東海道沼津駅附近ヨリ富士ヲ望ム」
12月	TVC 木村鋳造所ホームページ 絵はがき「沼津本町」・写真「空襲後の沼津市街地」など9点
1月	沼津郷土史研究談話会（沼津史談会） 沼津兵学校創立150周年記念事業 地図作成 静岡あさひテレビ「サタハビしずおか」 写真「国鉄蛇松線」
2月	静岡あさひテレビ「とびっきり！しずおか」内「さわやかウォーキング」 写真「国鉄蛇松線」
3月	JA南駿 スティック茶SOROKUなど 写真「江原素六」（江原素六関係文書）

沼津市明治史料館通信

第129号

平成29年4月25日

編集・発行 沼津市明治史料館
〒410-0051 沼津市西熊堂372-1
TEL055-923-3335
FAX055-925-3018

印刷
みどり美術印刷株式会社

江原素六学習作品展

～子どもたちが見た江原素六～
平成29年5月14日（日）まで

平成28年度の4年生が取り組んだ
江原素六（江原素六先生の功績を学ぶ
学習）の成果作品を展示します。



今年は金岡・沢田・門池・開北・第五小学校の5校
が出品してくれました。壁新聞をはじめとする子ども
たちの力作を、この機会にぜひご覧ください。

